

スポット

立神峡公園



立神峡公園管理棟

立神峡は、緑に包まれた溪谷、高さ七十五メートル幅二百五十メートルの白い絶壁を水に映してそそり立っている。
夏は避暑地として、水遊びや魚釣りに賑わいをみせる。その自然豊かな立神峡公園の一角にログハウス三棟（一泊1万2000円（町内）、1万6000円（町外）定員は10人）、ロッジ二棟（一泊8000円（町内）、1万円（町外）定員五人）には宿泊が可能でまた室内は冷房暖房・バス・トイレを完備しておりその他各種調理器具等も揃えてあり、家族、子供会、サークル、研修会等に利用され大変人気のある施設であり、管理組合では自然体験プログラムの実施や立神峡里地公園内ふれあい広場では、



樹木や起伏に富んだ場所に子ども達から大人、老若男女を問わずみんなで楽しめる場所です。また、熊本県第一号公認ディスクゴルフファミリーコース（フライングディスクを投げバスケット型のゴールに何回で入れることができるか競うゲーム）が併設され自然の中で楽しく思いっきり遊ぶことができます。是非目的に合わせてご利用されてはどうでしょうか。
昨年度（平成22年）は宿泊者3781人、キャンプ場に915人が利用しています。
お申込み・お問い合わせ
立神峡里地公園（管理棟）
0965-6211543

表紙のひとこと

大型台風がさり、いよいよ夏本番です。セミの鳴く声がいっそう暑く感じます。「わあーい、わーい、楽しい」この暑さを吹き飛ばす、子どもたちの元気な声、ここは、町立常葉保育所の園庭です。常葉保育所では毎年、夏になると園庭に大きなプールが設置されます。子どもたちはこのプールで毎日「水遊び」をしています。この日は午前中に年長さんが「水遊び」の間でした。
子どもたちは一目散でプールへ、元気のいい声が園庭中に響きわたりました。元気な子どもの笑顔は素敵です。



編集後記

久しぶりに明るい話題に日本中がわきました。女子サッカーのワールドカップで日本代表が初優勝を飾りました。決勝戦は日本がこれまで24回対戦して、一度も勝ったことのないアメリカ。試合は、アメリカに2度も先行されましたが、粘って追いつき最後はPK戦で勝利をもち取りました。ある選手が「チームワークの勝利」と言いましたが、最後まで勝利をあきらめない戦いが、大震災で被災した人たちにも大きな希望と勇気を与えたのではないのでしょうか。
努力にまざるものではありません。（Y）